

## 6月30日：ベトナム株は第2四半期最終日に下落

ベトナム株は第2四半期の最終日に下落して取引を終えた。流動性は低下したが、外国人投資家は3営業日連続で資金を流入させた。

ホーチミン取引所のVN指数は5.21ポイント（0.46%）安の1,120.18ポイントで取引を終えた。

GDP成長率が低調だったことから、木曜日に13ポイントほど下落していた。

第2四半期のGDP成長率は4.14%で、2020年よりは良かった。

騰落別では、値下がり銘柄数が値上がり銘柄数を上回った。

流動性は低調で、出来高は6.17億株、売買代金は12.62兆ドンだった。

VN30指数は2.16ポイント（0.19%）安の1,123.13ポイントで取引を終えた。19銘柄が下落し、9銘柄は上昇した。

銀行セクターが相場の下げを主導した。

ベトストックによると、ベトコムバンク（VCB）が1.86%安となり、指数を最も押し下げた。

その他、BIDV（BID）、ベティンバンク（CTG）、テクコムバンク（TCB）も大きく下落した。

また、不動産、製造業、ガス・石油といったセクターの下落が投資家心理を悪化させた。

ホアファットグループ（HPG）の上昇が指数の下落を和らげた。

主な上昇銘柄は、ベトナムラバーグループ（GVR）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、FPTリテール（FRT）、ゲレックス（GEX）で1%以上上昇した。

ハノイ取引所のHNX指数は0.16%（0.07%）安の227.32ポイントで取引を終えた。

出来高は6970万株、売買代金は12.6兆ドンだった。

外国人投資家の買い越しは相場を支える要因となっている。ホーチミン市場では3,813億ドンを買い越した。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。